



Company Profile

農業の未来へ その先の挑戦へ

国内農業を守ること。それは、私たちの命と健康に直結する重要なテーマです。

より効率的に、より安心安全に、より高品質な農業生産の実現をめざして。

北斗工機は、農業プラントの総合エンジニアリング企業として、

持続可能な農業の未来をひらくイノベーションに挑みつづけます。



次の農業と、 新たな産業への 貢献をめざして。



代表取締役社長
須藤 聰

当社は、日本の食糧基地北海道を拠点として、穀物乾燥施設やでん粉工場をはじめとするプラント設備の設計・製造・建設をおこなう総合エンジニアリング企業です。

1955年に、馬鈴薯からでん粉を製造する乾燥機「フラッシュドライヤー」の開発からスタートし、その後、米や麦など穀類の乾燥機にも着手。北海道農業の発展とともに成長をつづけ、道内を中心に数多くの農業プラントを手がけてまいりました。独自開発の技術に対しても高い評価をいただきしており、とくに小麦の乾燥機は全道で70%のシェアを誇ります。

一方で、低い食料自給率や深刻化する担い手不足など、農業をとりまく環境はますます予断を許しません。そうした厳しい状況の打開に貢献すべく、当社では豊富な実績と多彩な技術をいかしながら、最先端の大規模自動化プラントの研究開発にも取り組んでいるところです。

北海道の農業と日本の食の未来のために。
これからも、社員一同、お客さまお一人お一人と心をあわせ、
いっそう努力を重ねてまいります。

PLANT ENGINEERING



日本の農業ブランドを、 最高の農業プラントで。

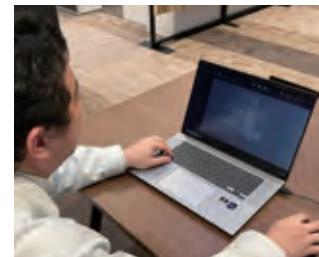
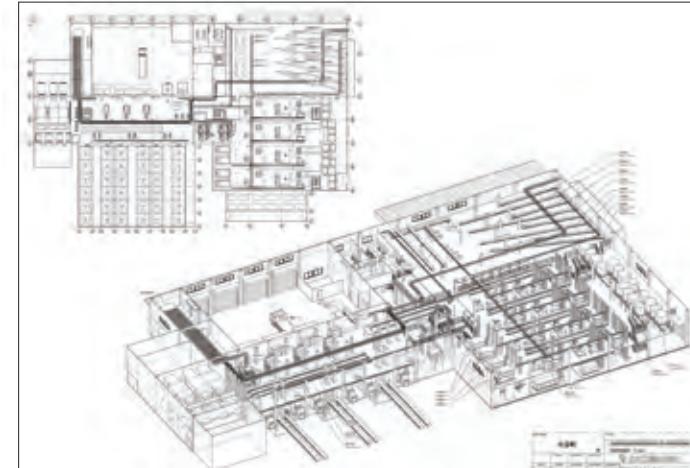
北斗工機は、穀類や豆類、でん粉などの農作物の一次加工をおこなう農業プラント設備を数多く製造・建設。北海道唯一の総合エンジニアリング企業として、計画設計から施工管理、保守メンテナンスまでをトータルに展開しています。

国産小麦の約2/3が北海道で収穫されるなど、道産品は世界に誇る農業ブランドです。こうした生産設備の多くを北斗工機が担当。高い技術と信頼で、日本の農業生産に貢献します。

01

プラントエンジニアリングとは

プラントとは、農産物や鉄鋼をはじめとした製品・原料を製造する工場施設や、石油・ガスなどのエネルギーや下水処理場などの工場設備のこと。こうしたシステム全体の計画設計から建設工事、施工管理、保守メンテナンスに至る業務を総合的に担うのがプラントエンジニアリングです。



プラントの建設



引渡後

保
守
メンテナ
ンス

持続可能な農業を支える 北斗工機のプラント群



オホーツクビーンズファクトリー
[網走郡大空町]



女満別町農協 てん菜種子種苗生産関連施設
[網走郡大空町]

豆

小豆や大豆をはじめ、さまざまな豆類を選別して磨きあげ、パッケージしたうえで出荷されます。

04

甜菜

砂糖の原料となる甜菜。北斗工機の乾燥技術は、その種子の乾燥にもいかされています。

03

麦

小麦の乾燥・貯留に、適切な能力で対応。高い品質保持と効率化を追求し、荷受けから出荷までの各工程をきめ細かく管理します。

02

馬鈴薯・甘藷

馬鈴薯からでん粉を製造するための乾燥設備の開発製造が、北斗工機の原点。その技術と経験をいかし、甘藷でん粉の製造プラントも手がけています。

01



網走市 麦類乾燥調製貯蔵施設
[網走市]



鹿児島県きもつき新西南でん粉製造施設
[鹿児島県鹿屋市]

PRODUCT
DEVELOPMENT

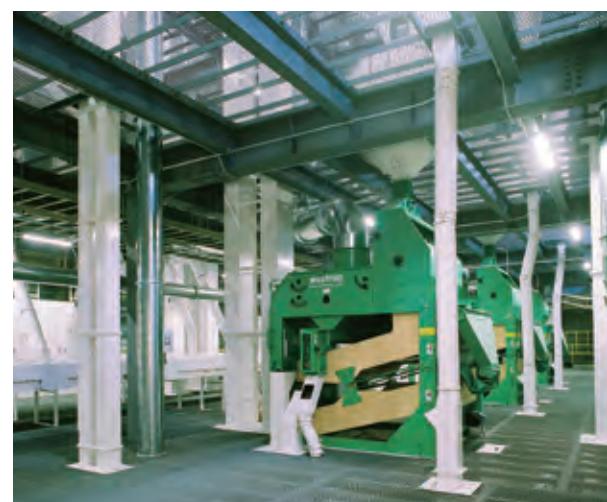
生産性と品質の向上に応える、 トータルな開発力。

乾燥設備の開発と製造。それが、北斗工機の原点であり最大の強みでもあります。麦や米、大豆、でん粉など、原料ごとに異なる特性に対応した各種乾燥システムを提供。さらに、米・麦を中心とした種子の選別や消毒、調製出荷において求められるさまざまなニーズに、すべてに精通した開発力でお応えします。

02

穀物乾燥調製

農作物は水分を含んでいるため、収穫後素早く乾燥させて品質低下を防ぐ必要があります。米は食味を重視したやさしい乾燥を、豆類は温度を上げずに除湿乾燥を、麦には品質を保つ低温大風量による乾燥を、それぞれの特性にあわせておこないます。





でん粉製造

高温の気流で乾燥させるフラッシュドライヤーにより、85～90%の水分を含む粉粒状の原料を含水率15%でのん粉として製品化します。フラッシュドライヤーは、乾燥させようとする物質の性質や設置場所にあわせた設計が可能なため、牧草、配合飼料、大豆粕などの乾燥にも幅広く採用されています。

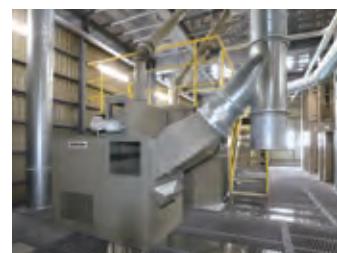


各種関連機器

取扱品種に最適化された選別機、昇降機をはじめ、プラントの生産効率を高める多種多様な関連機器を開発製造しています。



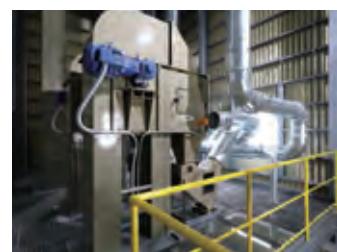
回転選別機



横型風力選別機



搬送機



昇降機



ケージミル

NEXT
TECHNOLOGY



不断の技術革新で、 次世代への扉をひらく。

加速する少子高齢化などの影響により、農業の就業人口は年々減少をつづけています。そこで必要となるのが、人の手をかけることなく、より多くの農作物をより効率的に処理できることです。北斗工機では、次世代のテクノロジーを積極的に取り入れ、各種データの遠隔監視とそれらを利用したフィードバック制御により、完全に自動化された農業プラントの実現にチャレンジしています。

03

農業の完全無人化は可能？

収穫された農産物の乾燥選別プラントの自動化には、これまでさまざまなハードルが存在しました。たとえば、多くの品種や、天候に左右される原料性状に、どう柔軟に対応するかが、大きな課題でした。しかし近年、ビジョンセンサーに代表される各種センサーを活用して、人の目が頼りだった選別や監視を自動でおこなうことが可能になりました。また、クラウドサービスの導入により、プラントの稼働をエンジニアが遠隔サポートすることもできるようになりました。

北斗工機は、信頼性の高いハード技術に最新のセンサーや通信技術を組み合わせ、時代が求める完全自動化プラントの実現に取り組んでいます。





北斗工機がめざす、第5世代とは

▶システムが主体となって生産

生産管理システムの指令で原料の性状を分析し、その情報にもとづいて機械を最適な稼働状態に設定。選別過程を常時監視し、変動に応じて適切な修正を加え、製品の品質チェックをおこないます。同時に、生産過程のすべてが記録され、完全なトレーサビリティ(品質保証)を可能とします。

▶付加価値が高まる、人の役割

システムの動作状況をチェックし、データを分析してさまざまな制御変数の最適化をすすめ、改善活動につなげることに注力できるようになるなど、人の役割はより付加価値の高いものへと進化していきます。



集中監視操作室

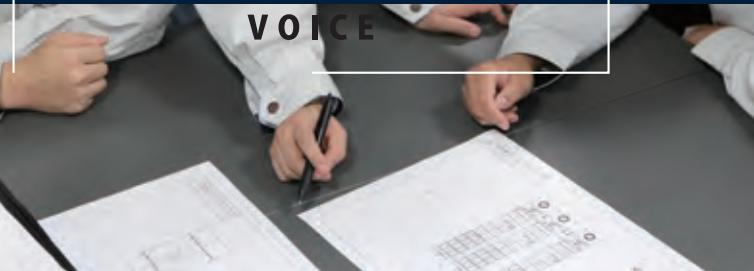


穀物流量計 GFM4000



生産管理システム AGRiS

REAL
VOICE



すべての技術は人からはじまる。 私たちの強みは、人にはあります。

技術の発端は、人が生みだすニーズにあります。ニーズに応える技術を完成させるには、それを的確につくりあげる力量をそなえた人材を育てなければなりません。技術者としてすぐれたスペシャリストであるとともに、幅広い知見を持ちあわせたジェネラリストでもあること。北斗工機がめざすのは、ひとつとして同じものない多様な農業プラントを、磨きあげた技術と豊かな洞察力でかたちにするプロフェッショナルなエンジニア集団です。

04

責任が大きいほど、
やり遂げたときの達成感も格別です。



技術部 課長代理
監理技術者
二口 涼介 (2017年10月入社)

これまでにプラントの改修工事と新設工事をそれぞれを3カ所ずつ担当しました。ほぼ毎年どこかの現場にいて、経験値を積み重ねてきたことになります。大がかりな現場が多いので、責任も重大です。工事プランを立て、図面を引き、関係者と打ち合わせを重ねつつ無事に完成したときの達成感は、何ものにも代えられません。今後は、プラント無人化などの新たな技術にも関わっていきたいですね。

ひとつの現場をまかされるだけの力を、
早く身につけたい。

技術部
西村 祐太 (2022年4月入社)

もともと機械の設計をやりたいと考えていたのですが、机上で図面を描くだけでなく、実際につくったものを現場に据え付けたり、施工の状態をチェックしたりと、一貫して手がけることのできるこの仕事を選んで正解でした。毎日、覚えなければならないことが多く大変ですが、確実に成長できているという手応えを感じています。大きな現場をまかされるだけの力を、早く身につけたいと思っています。





お客さまとの信頼関係を深め、 よりきめ細かな対応を心がけています。

十勝出張所 地区担当課長
監理技術者

吉田 岳志 (2010年4月入社)

スノーボード好きが高じて北海道の大学を選び、就職も北海道に根ざした会社にこだわって現在に至るという感じです。十勝エリア全体をカバーし、JAを中心とした数多くのプラントの保全業務や改善、改修などをおこなっています。当面の目標は、広大な地域に点在するお客さまとの信頼関係をより高め、さまざまな要望にもつときめ細かく対応していくこと。仕事も、スノボも、全力で楽しんでいます。

社歴に関係なく、挑戦できる環境。 確かなやりがいを感じています。

技術部

今西 優希 (2021年4月入社)

入社後2年間は、清里町の麦乾工場や大空町の豆類調製施設でプラントの現場を経験。現在は、札幌本社が管轄する小麦工場の、補修や改善などの業務に携わっています。まだ社歴は浅いですが、機械設計において採用されることが多く、工事の現場監督をまかされるなど、チャレンジの機会に恵まれています。どんどん挑戦できるので、やりがいも大きいですね。



会社のこれからをしっかりと支える、 経営者の目線を養いたいですね。

総務部 係長
齊藤 健太 (2022年8月入社)

人事・総務・経理と、バックオフィス業務全般を担当しています。仕事が多岐にわたるので、さまざまな業務に迅速かつ柔軟に対応できる力が求められます。そこが楽しくもあり、大変なところですが、少しずつ知識の幅を広げながら、自らのスキルを高めているところです。そのうえで経営者の目線を養い、会社のこれからをしっかり支えていきたいと考えています。

HEAD
OFFICE



北海道の大地と、光と、 遊び心が息づく本社オフィス。

北海道の原風景を、オフィス空間に。そんな想いがちりばめられた本社新社屋は、緊張感がはりつめるだけの仕事場とは一線を画した、洗練されたおおらかさに包まれています。ここに居ながらにして、自然の息吹や光を感じながら仕事に向きあい、ときには木蔭でひと息つくように、心をほどく。そんな、やわらかな時間が流れる北斗工機から、新たな未来がはじまります。



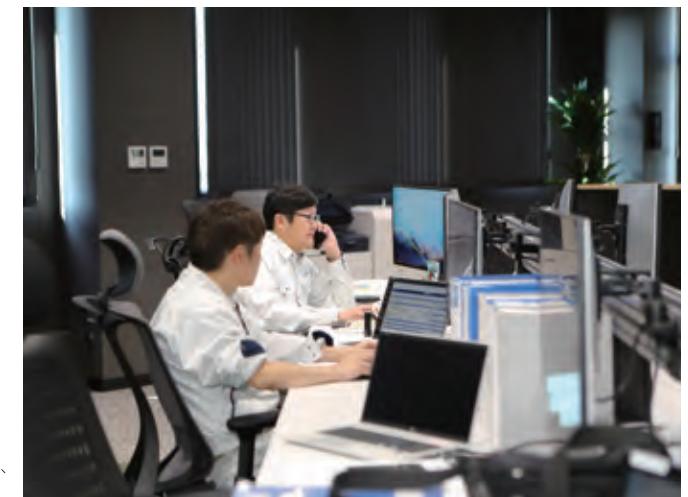
05



2F／技術部エリア
自由に使える、スクエアな島のようなデスク。



2F／技術部エリア
余裕のスペースに広がる、機能的な仕事環境。





2F／ミーティングルーム
自然と集中力が高まり、議論が深まる。



2F／カフェスペース
香高いコーヒーで、
ちょっと息抜き。



2F／フリースペース
仕事で疲れたアタマを、
ここでリフレッシュ。



1F／吹抜け
2Fの活気が伝わる、
スタイリッシュな吹抜け。



[社会保険]

厚生年金保険、健康保険(協会けんぽ)、
雇用保険、労災保険

[各種制度]

完全週休二日制、退職金制度、
確定給付企業年金、奨学金返還支援制度、
マイカー通勤可(無料駐車場有)、
社内・社有車全面禁煙(喫煙室有)
定年後再雇用制度、永年勤続表彰、
慶弔見舞金制度、育児・介護休業制度
単身赴任者への帰省旅費支給制度

[資格取得サポート]

資格取得のための講習受講料、受験料は全額
会社で負担
特定の資格には資格手当として毎月手当金を
支給

[各種手当]

住宅手当
(配偶者有:20,000円 配偶者無:15,000円)
家族手当
(配偶者:6,000円 子:10,000円/人)
資格手当
単身赴任手当

[研修プログラム]

新入社員研修
各種業務関連研修(外部)

ABOUT US

[会社概要]

| | |
|-----------|--|
| 商 号 | 北斗工機株式会社 |
| 創 業 | 1955年2月8日 |
| 資 本 金 | 4,800万円 |
| 社 員 数 | 34人(2024年4月1日現在) |
| 代 表 取 締 役 | 須藤 聰 |
| 建 設 業 許 可 | 【特定】建築、鋼構造物、土木、屋根、板金、塗装、解体、機械器具設置 【一般】電気、管 |
| 許 可 番 号 | 北海道知事許可(特・般-01)石 第02813号 北海道知事許可(特・般-02)石 第02813号 |
| 建築士事務所 | 一級建築士事務所 北斗工機株式会社 北海道知事登録(石)第6223号 令和2年5月22日登録 |
| 古 物 商 許 可 | 北海道公安委員会許可 第101030001764号 機械工具類商 令和2年6月9日交付 |
| 主 な 取 引 先 | 全国農業協同組合連合会・ ホクレン農業協同組合連合会・各地農業協同組合 |
| 取 引 銀 行 | 北洋銀行(本店営業部)・北海道信連(本所) |

[沿革]

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 1955年 | 会社設立 でん粉工場向け気流乾燥機販売開始 代表取締役 奥田大三 |
| 1960年 | 代表取締役 渡辺昇 |
| 1966年 | 麦・豆用乾燥機販売開始 |
| 1970年 | 穀用乾燥機販売開始 |
| 1971年 | コーンスターク乾燥機販売開始 |
| 1972年 | 北海道初のカントリー施設建設 |
| 1975年 | でん粉製造排水の蛋白回収工場建設 |
| 1977年 | 穀類用HGD型乾燥機販売開始 |
| 1983年 | 代表取締役 安孫子和彦 |
| 1986年 | ステビア乾燥工場建設 |
| 1987年 | 全天候型大型乾燥機販売開始 |
| 1991年 | 代表取締役 佐藤一彦 代表取締役 室井孝仁 |
| 2003年 | 豆類自動乾燥機販売開始 |
| 2009年 | 甘藷でん粉製造工場建設 |
| 2013年 | 代表取締役 工藤博司 |
| 2019年 | 代表取締役 須藤聰 |
| 2023年 | 本社移転 道東営業所開設 |



表紙イラスト:
農業生産者と消費者をつなげる北斗工機を
イメージしたシンボルアート。

[プラント施工実績]



東工連 東部十勝澱粉工場



網走市 麦類乾燥調製貯蔵施設 第3工場



本別町農協 麦乾燥調製施設



J A 南薩拠点霜出澱粉製造施設



音更町農協 豆類貯留調製施設



網走市 小麦集出荷施設



本 社

札幌市西区八軒10条西12丁目1番20号

TEL:011- 676-7883

FAX:011- 676-7884

道東営業所

網走市駒場南1丁目1番10号

TEL : 0152-61-6266

FAX : 0152-61-6267

十勝出張所

帯広市東2条南15丁目10 ゼンリン第3ビル1-E

TEL : 0155-20-2152

FAX : 0155-20-2153

<https://www.hokutokouki.com>